

開催日 平成22年11月26日(金)  
会場 東洋大学白山キャンパス 井上円了ホール

主催 独立行政法人科学技術振興機構(JST)

# 統合シミュレーション

## マルチスケール・マルチプラットフォーム現象の

参加無料  
(交流会参加者は、当日3,000円徴収)

平成22年度公開シンポジウム  
CREST Core Research for Evolutional Science and Technology  
基礎的創造研究推進事業

### ■会場のご案内■



〒112-8606  
東京都文京区 白山5-28-20  
東洋大学 白山キャンパス  
井上円了ホール

**都営地下鉄三田線「千石」駅**  
・A1出口から「正門・西門」徒歩8分

**都営地下鉄三田線「白山」駅**  
・A3出口から「正面・南門」徒歩5分  
・A1出口から「西門」徒歩5分

**JR山手線「巣鴨」駅**  
・南口から「正門・西門」徒歩20分  
・都営バス10分  
(「浅草雷門」行「東洋大学前」下車)

**東京メトロ南北線「本駒込」駅**  
・1番出口から「正門・南門」徒歩5分

### ■参加申込み■

下記URLからお申し込みください。

【締切:11月15日(月)】

<http://www.multi.jst.go.jp/sympo2010/>

### ■お問い合わせ

独立行政法人 科学技術振興機構  
イノベーション推進本部 研究領域総合運営部  
担当 丹治

TEL: 03-3512-3524

 独立行政法人  
**科学技術振興機構**  
Japan Science and Technology Agency



# プログラム

## 井上円了ホール

## ロビー

10:30~10:40	<b>開会の挨拶</b> 研究総括 矢川 元基 (東洋大学 計算力学研究センター センター長・大学院教授)	ポスターセッション (全研究課題)
10:40~12:00	<b>パネルディスカッションI【地球・環境】</b> ■コーディネータ 戎崎 俊一 (理化学研究所 計算宇宙物理研究室 室長) ■パネリスト 全球雲解像大気モデルの熱帯気象予測への実用化に関する研究 佐藤 正樹 (海洋研究開発機構 地球環境変動領域 チームリーダー) 災害予測シミュレーションの高度化 高橋 桂子 (海洋研究開発機構 地球シミュレータセンター プログラムディレクター) 観測・計算を融合した階層連結地震・津波災害予測システム 松浦 充宏 (統計数理研究所 予測発見戦略研究センター 特任教授) 海洋循環のスケール間相互作用と大規模変動 羽角 博康 (東京大学 大気海洋研究所 准教授) 海洋生態系将来予測のための海洋環境シミュレーション研究 山中 康裕 (北海道大学 大学院地球環境科学研究所 准教授)	【展示のみ】
12:00~12:30	(昼休み)	
12:30~13:00		ポスターセッション (全研究課題)【説明】
13:00~14:10	<b>パネルディスカッションII【マクロ・情報・工学】</b> ■コーディネータ 久田 俊明 (東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授) ■パネリスト 超伝導新奇応用のためのマルチスケール・マルチフィジックスシミュレーションの基盤構築 町田 昌彦 (日本原子力研究開発機構 システム計算科学センター 研究主幹) 惑星間航行システム開発に向けたマルチスケール粒子シミュレーション 臼井 英之 (神戸大学 大学院システム情報学研究科 教授) 原子力発電プラントの地震耐力予測シミュレーション 吉村 忍 (東京大学 大学院工学系研究科 教授) DDSシミュレータの研究開発 三上 益弘 (産業技術総合研究所 ナノシステム研究部門 グループ長)	ポスターセッション (全研究課題)  【展示のみ】
14:10~14:30	(休憩)	ポスターセッション (全研究課題)【説明】
14:30~16:10	<b>パネルディスカッションIII【ナノレベル材料科学】</b> ■コーディネータ 遠藤 守信 (信州大学 工学部電気電子工学科 教授) ■パネリスト ナノ・メゾ・マイクロの複雑固液界面の大規模数値解析 尾形 修司 (名古屋工業大学 大学院工学研究科 教授) 計算量子科学によるナノアーキテクチャ構築 押山 淳 (東京大学 大学院工学系研究科 教授) 凝集反応系マルチスケールシミュレーションの研究開発 長岡 正隆 (名古屋大学 大学院情報科学研究科 教授) 一大規模原子情報の疎視化・再構成技法・疎視的理論の開発一 Stephan IRLE【諸熊チーム】 (名古屋大学 高等研究院 特任准教授) 複雑分子系の複合分子理論シミュレーション 山本 量一 (京都大学 大学院工学研究科 教授) ソフトマターの多階層/相互接続シミュレーション 今田 正俊 (東京大学 大学院工学系研究科 教授) 高精度多体多階層物質シミュレーション 中辻 博 (量子化学研究協会 理事長) 超精密予測と巨大分子設計を実現する革新的量子化学と計算科学基盤技術の構築	ポスターセッション (全研究課題)  【展示のみ】
16:10~16:30	(休憩)	ポスターセッション (全研究課題)【説明】
16:30~17:40	<b>パネルディスカッションIV【ナノレベル生体科学】</b> ■コーディネータ 岡本 祐幸 (名古屋大学 大学院理学研究科 教授) ■パネリスト 生体系の高精度計算に適した階層的量子化学計算システムの構築 天能 精一郎 (神戸大学 大学院システム情報学研究科 教授) ナノバイオ系のシミュレーションとダイナミクス 平尾 公彦 (理化学研究所 基幹研究所 次世代分子理論特別研究ユニット 特任顧問) 大規模系への超高精度O(N)演算法とナノ・バイオ材料設計 青木 百合子 (九州大学 大学院総合理工学研究院 教授) バイオ分子間相互作用形態の階層的モデリング 北尾 彰朗 (東京大学 分子細胞生物学研究所 准教授)	ポスターセッション (全研究課題)  【展示のみ】
17:40~17:50	<b>閉会の挨拶</b> 小原 英雄 (科学技術振興機構 研究領域総合運営部 部長)	

※プログラムの内容は変更される場合があります。